




残暑お見舞い申し上げます。



越谷市ボランティア連絡会

会長 会田 真理子

異常気象の酷暑も空を見ると、秋に近づいていることを感じられるこの頃、8月には、宮崎県日向灘地震、大雨による被害と多くの災害に見舞われました。

災害が少ない埼玉であります。この夏は、改めて防災用品の見直し、家族の防災対策を考える夏となりました。自助・共助・公助を今一度確認し、適切な避難行動を事前に整理しておきましょう。

まだ暑い日が続きますが、お身体ご留意し活動して下さい。

★第3回Vフェス実行委員会

日時 令和6年9月24(火) 10:00～

会場 中央市民会館 5F 第8会議室

内容 第33回「ボランティアフェスティバル」について



★正・副代表者会

日時 令和6年10月21(月) 10:00～

会場 中央市民会館 4F 第16～18 会議室

内容 正・副代表者会の参加者氏名を連絡してください。

・締め切り 10月11日迄

・お弁当が出ます。

連絡先 電話 966-3211 ボランティアセンター

★第4回Vフェス実行委員会

日時 令和6年10月21(月)

11:00～

会場 中央市民会館 4F

第16～18 会議室

内容 スタッフの役割

★全体研修会 ・災害時の取り組みについて学ぶ

日時 令和6年10月21日(月)

13:30～

会場 中央市民会館 4F 第16～18 会議室

※各グループ4～5名の参加をお願いします。

参加者名をお知らせください。10月11日迄

電話 966-3211 ボランティアセンター

- 自分の身を守るためには、どのような対策・方法をとればよいか。段ボールベッド・トイレの体験を通して、避難所生活の疑似体験し、理解を深める。

★傾聴ボランティア入門講座報告

近年需要が高まっている傾聴ボランティア入門講座が、多くの参加者のもと、5月31日に開催されました。講座のあと、傾聴ボランティアゆうゆうに7名の方が加入され、活動を始めています。

以下代表者さんの感想です。

少し昔の一昨年暮れ、コロナが5類になったとは言え3年間の影響は大きく活動は全くできないし、様々な事情で会員も減り、この先どうなるかと心配していました。ところが昨年に入り新しい依頼も含め、順次活動も再開。会員も2倍になりました。

コロナにより抑えられていた気持ちが徐々に解放されつつあるとはいえ、一体何が起きたのだろうと首をかしげながら喜んでおりました。この間、「社協だよりピュア」掲載や「認知症サポーター養成講座」「社協傾聴入門講座」でPRの場を頂き、改めて情報発信の大切さを認識させられました。

新しい仲間の活動もそれぞれとても喜ばれております。この流れを大切に越谷にもっともっと傾聴が浸透していくことを願っています。



グループ研修風景「もっと喜ばれる活動に、もっと楽しいグループに」を目指して

夏休みジュニアボランティアスクール参加報告

夏休みの7月26日・29日・31日行われたジュニアボランティアスクールに連絡会から「手話すみれ」「朗読V『さなえ』」「点字はなみずき」が参加しました。

以下に「手話すみれ」グループの代表者さんの感想を掲載します。

厳しい暑さにもかかわらず、ジュニアボランティアスクールに参加した子どもたちの真剣なまなざしが印象的でした。

最初に“あいさつ”「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」などの手話表現をしました。低学年の生徒が特に、積極的に一生懸命に取り組んでくれ、手話の歌「さんぽ」では大きな声で楽しそうに、そしてとても和やかな雰囲気を感じられ嬉しく思いました。

高学年の生徒は、少し消極的に思えましたが、自分の名前表現では、簡単に覚えてくれ、子どもたちの呑み込みの速さにびっくりしました。子どもたちが、この経験を「きっかけ」に、障がい者に対する理解やボランティアの意識が少しでも芽生えてくれると良いと思いました。



（10月号に「朗読V『さなえ』」「点字はなみずき」の代表者の感想を掲載予定です。）